

3級の1

第64回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援 平成19年6月24日実施

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 三重商事株式会社の株式/0株を/株につき 60,000 で買入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 得意先南北商店が倒産し、同店に対する売掛金 100,000 を貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が 20,000 ある。
- 帳簿価額 500,000 の備品を 300,000 で売却し、代金は現金で受け取った。
- 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として 90,000 を現金で仮払いした。
- 新潟商店に商品 350,000 を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。ただし、当座借越勘定の残高が 70,000 ある。
- 長野商店では定額資金前渡法を採用することとし、小口現金として小切手 40,000 を振り出して庶務係に渡した。

2

中部商店の下記の取引について、

- 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の買掛金勘定に転記しなさい。
- 仕入帳・買掛金元帳に記入して、締め切りなさい。
ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。
ii 仕訳帳の小書きは省略する。
iii 元丁欄には、買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

/月 9日 愛知商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品	400個	@ 300	200,000
B 品	500 "	" " 500	250,000

/日 愛知商店から仕入れた上記商品の一部について、次のとおり値引きを受けた。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

B 品	100個	@ 20	2,000
A 品	200個	@ 450	90,000
B 品	400 "	" " 750	300,000

/3日 静岡商店に次の商品を売り渡し、代金の一部については、下記の約束手形#8で受け取り、残額は掛けとした。

No. 8	<h3>約束手形</h3> 愛知県名古屋市中区三の丸3-1 中部商店 中部 一郎 殿	金額 <h2>200,000</h2>	支払期日 平成 〇 年 3 月 13 日 支払地 静岡県静岡市 支払場所 株式会社 全商銀行本店
収入紙 印紙 200円	上記金額をおなまたはあなたへの約束手形を引き替えにお支払いいたします 平成 〇 年 1 月 13 日 振出地 静岡県静岡市田町7-90 住所 静岡県静岡市 振出人 静岡商店	静岡 2201 0149-001	

/8日 山梨商店から次の商品を仕入れ、代金のうち 80,000 は小切手#//を振り出して支払い、残額は掛けとした。

C 品 300個 @ 600 180,000

26日 山梨商店に対する買掛金の一部 130,000 を現金で支払った。

3級 の **2**

1 は 表 面

第64回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

3

北陸商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取 引

6月1日 商品売買の仲介をおこない、石川商店から手数料として現金 2,500 を受け取った。(伝票番号 No. 96)

” 日 福井商店に対する買掛金の支払いとして、同店あての約束手形 210,000 を振り出した。

(伝票番号 No. 85)

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 富士山商店は、下記のとおり移動平均法によって商品有高帳を記帳している。よって、
 - a. 残高欄の(ア)に入る金額を求めなさい。
 - b. 7月中のA品の売上原価を求めなさい。ただし、7月中に仕入戻し・仕入値引・売上戻りはない。

平成〇年	摘 要	受 入			引			渡			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1	前月繰越	250	420	105,000				250	420	105,000			
10	高岡商店				170	420	71,400	80	420	33,600			
24	黒部商店	240	460	110,400									
31	次月繰越												
				215,400			490			215,400			

(2) 東京商店の期首の資産総額は 2,400,000 負債総額は 900,000 であり、期末の貸借対照表は下記のとおりであった。この期間中の収益総額が 6,740,000 であるとき、次の金額を計算しなさい。

- a. 費用総額
- b. 期末の負債総額

東京商店	借 入	資 金
現金	920,000	700,000
売掛	890,000	
商品	580,000	
備前	510,000	200,000
	2,900,000	2,900,000

(3) 次の各文の [] のなかに、下記の語群の中から最も適当なものを選び、その番号を記入しなさい。

- a. 試算表の借方合計金額と貸方合計金額が一致するのは [ア] によるものであり、これは複式簿記の大きな特徴である。
- b. 帳簿には、すべての取引を記録する仕訳帳や総勘定元帳のほか、現金出納帳や商品有高帳のように、特定の取引や特定の勘定についてその明細を記入する [イ] がある。

1. 補 助 簿
2. 棚 卸 表
3. 貸借平均の原理 (原則)
4. 主 要 簿
5. 資 本 等 式

5

岐阜商店 (個人企業 決算年/回 /2月31日) の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

(1) 精算表を完成しなさい。

(2) 備品勘定・給料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、日付・相手科目・金額を記入すること。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 2,200,000
- b. 貸倒引当金 売掛金残高の5%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- c. 備品減価償却高 取得原価 720,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は8年とし、定額法による。なお、直接法で記帳している。
- d. 現金過不足勘定の 2,000 は雑損とする。定額法による年間の減価償却費 = $\frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$
- e. 引出金勘定の 30,000 は整理する。

1	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				
e				
f				

2 (1) 仕 訳 帳

平成〇年	摘要	借方	貸方
/ /	前期繰越高	√ 5,320,000	5,320,000

総 勘 定 元 帳

平成〇年	摘要	借方	貸方	摘要	借方	貸方
				前期繰越	√	280,000

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

平成〇年	摘要	内 訳	金額

愛 知 商 店

平成〇年	摘要	借方	貸方	借ま	残高
/ /	前月繰越		110,000	貸	110,000

山 梨 商 店

平成〇年	摘要	借方	貸方	借ま	残高
/ /	前月繰越		170,000	貸	170,000

試験場校	受験番号

3級の1得点

3

入金伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

科目	入金先	金額
摘要		
合計		

出金伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

科目	支払先	金額
摘要		
合計		

振替伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

勘定科目	借方	貸方	勘定科目	借方	貸方
合計			合計		

4 (1) a b (2) a b (3) ア イ

学	学	学	学		
---	---	---	---	--	--

5 (1) 精算表 平成〇年/2月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	546,000							
当座預金	1,680,000							
売掛金	1,420,000							
貸倒引当金		28,000						
繰越商品	470,000							
備前手形	639,000			250,000				
買掛金			779,000					
借入金				600,000				
引当金				2,800,000				
売上		30,000						
仕入			7,129,000					
仕入手数料			47,000					
仕入料	5,185,000							
支払家賃	1,104,000							
支払利息	492,000							
雑費	27,000							
現金過不足	38,000							
	2,000							
	11,633,000	11,633,000						

(2) (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
 ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

1/1 前期繰越	639,000	備品	6	給料	1,104,000	料	15
----------	---------	----	---	----	-----------	---	----

試験場校	受験番号	3級の2得点	総得点
------	------	--------	-----

借		貸	
借	方	貸	方
a	有価証券	当座預金	600,000
b	貸倒引当金	売掛金	100,000
c	現金 固定資産売却損	備品	500,000
d	仮払金	現金	90,000
e	当座借越 当座預金	売上	350,000
f	小口現金	当座預金	40,000

2 (1) 仕訳帳

平成〇年	摘要	借方	貸方
/	前期繰越高	5,320,000	5,320,000
9	(仕入) (買掛金)	370,000	370,000
11	(買掛金) (仕入)	2,000	2,000
13	諸口 (売上)		390,000
	(受取手形)	200,000	
	(売掛金)	190,000	
18	(仕入) 諸口	180,000	80,000
	(当座預金)		
	(買掛金)	14	100,000
26	(買掛金) (現金)	14	130,000

総勘定元帳

平成〇年	摘要	借方	貸方
1	11 仕入	2,000	280,000
	26 現金	130,000	370,000
			100,000

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

平成〇年	摘要	内訳	金額
1	9 愛知商店	掛け	
	A 品	400個 @ ¥300	120,000
	B 品	500 " " ¥500	250,000
11	愛知商店	掛け値引き @ ¥20	2,000
18	山梨商店	小切手・掛け	
	C 品	300個 @ ¥600	180,000
31		総仕入高	550,000
		仕入値引高	2,000
		純仕入高	548,000

愛知商店 買掛金元帳

平成〇年	摘要	借方	貸方
/	前月繰越	110,000	110,000
9	仕入		370,000
11	仕入値引	2,000	
31	次月繰越	478,000	480,000

山梨商店

平成〇年	摘要	借方	貸方
/	前月繰越		170,000
18	仕入れ		100,000
26	支払	130,000	
31	次月繰越	140,000	270,000

財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援
第64回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答]

3級の2

入金伝票 No. 96
平成○年6月11日

科目	受取手数料	入金先	石川商店 殿	金額
摘要				
商品売買の仲介手数料			15000	
合計			15000	

出金伝票 No. 85
平成○年 月 日

科目	支払先	金額
摘要		
合計		

振替伝票 No. 85
平成○年6月11日

勘定科目	借方		勘定科目	貸方	
	買掛金	現金		支払手形	現金
合計	210000	210000	合計	210000	210000

摘要 福井商店に買掛金支払い 約束手形#6振り出し

4	(1)	a	b	(2)	a	b	(3)	ア	イ
450	450	71,400	28,000	6,540,000	6,540,000	1,200,000	3	3	1

5 (1) 精算表
平成○年/2月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	546,000				546,000			
当座預金	1,680,000				1,680,000			
売掛金	1,420,000				1,420,000			
貸倒引当金		28,000		43,000		43,000		71,000
繰越商品	470,000		520,000	470,000		520,000		520,000
備前払手形	639,000			81,000		81,000		558,000
買掛金		250,000		779,000		779,000		250,000
借入金		600,000				600,000		600,000
資本		2,800,000		30,000		30,000		2,770,000
引当金	30,000							
受取手数料			7,129,000			7,129,000		
仕入	5,185,000			470,000		5,135,000		47,000
給料	1,104,000			520,000		1,104,000		
支払家賃	492,000			1,104,000		492,000		
支払利息	27,000			27,000		27,000		
雑費	38,000			38,000		38,000		
現金過不足	2,000			2,000		2,000		
貸倒償却	11,633,000			43,000		43,000		
減価償却				81,000		81,000		
雑損				2,000		2,000		
当期純利益				254,000		254,000		254,000
合計	11,633,000	11,633,000	1,146,000	1,146,000	7,176,000	7,176,000	4,724,000	4,724,000

(2) (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

1/1 前期繰越	12/31 減価償却費	81,000	1,104,000	12/31 損益	1,104,000
639,000	次期繰越	558,000	給料		
639,000		639,000			